

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公開番号】特開 2002-62483 (P2002-62483A)
 【公開日】平成 14 年 2 月 28 日 (2002.2.28)
 【出願番号】特願 2000-251877 (P2000-251877)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 21/26 (2006.01)

G 0 2 B 21/24 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/26

G 0 2 B 21/24

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 30 日 (2007.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

また、ステージは、ベース部材（ステージ下板）と、第 1 移動部材（ステージ中板）と、第 2 移動部材（ステージ上板）の 3 つの部材から成り、第 1 移動部材（ステージ中板）と、第 2 移動部材（ステージ上板）とは互いに直行する方向（X 方向と Y 方向）に移動可能なものとするのが好ましい。そして、第 2 移動部材には、サンプルホルダを設置するための凹部や開口部が形成されておらず、第 2 移動部材のサンプル載置部は、平面状になっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

ステージ上板 1 1 の上面のサンプル載置部は、概ね平面な状態になっている。ステージ上板 1 1 上には、ピン 1 3 a、1 3 b が設けられている。そして、サンプルホルダ 1 2 には、ピン 1 3 a、1 3 b のそれぞれに対応する位置に開口部 1 2 a、1 2 b が穿設されている。そして、ピン 1 3 a と開口部 1 2 a、ピン 1 3 b と開口部 1 2 b とが嵌合するようになっている。これにより、サンプルホルダ 1 2 をステージ上板 1 1 上に載置するときのステージ上板 1 1 とサンプルホルダ 1 2 との相対位置が決定する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

また図 1 に示すように、サンプルホルダ 1 2 におけるステージ上板 1 1 との接触領域には凹部や開口部がなく、概ね平面な状態になっており、サンプルホルダ 1 2 をステージ 1 1 に設置する場合、凹部に落とし込んで設置することがない。そのため、前記従来技術で説明したようにサンプルホルダをステージから取り外すときに有効であった取り外し用

開口部 8 1 b (図 8 参照) をステージ上板に形成する必要がない。そのため、本発明では、取り外し用開口部を設けることにより生じていた、ステージ上板の反りや強度低下、製造効率悪化等の問題も全くない。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

更に、ステージ上板 1 1 は、概ね平面になっており、従来存在したような開口部や凹部がない。そのため、ステージ上板 1 1 上に直接サンプルを置くことが可能になる。従って、サンプルホルダがなくてもサンプルの観察が可能になる。これにより、サンプルホルダの厚み分だけ高さのあるサンプルを検鏡することが可能になり、観察するサンプルのバリエーションを増やすことが可能になる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

図 7 中、ステージ 7 0 は、ステージ下板 7 0 A と、ステージ中板 7 0 B と、ステージ上板 7 0 C の 3 つの部材から成り、ステージは、顕微鏡本体 7 6 の台座 7 5 上に設置されている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

ステージ 7 0 の中板 7 0 B 及び上板 7 0 C のそれぞれのステージ板の X 方向及び Y 方向の移動は、ハンドル 7 4 を軸回転させることにより行われる。ステージ板の移動は、移動しないステージ下板 7 0 A 上のステージ中板 7 0 B を Y 方向に移動可能にし、ステージ上板 7 0 C は、X 方向に移動可能にする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

ステージ 7 0 の上方には、レボルバー 7 3 に取り付けられた対物レンズ 7 2 が設置されている。この対物レンズ 7 2 で観察したサンプルの像は、対物レンズ 7 2 の上方に設置された接眼レンズ 7 1 により観察する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

また、顕微鏡本体 7 6 には照明装置 7 7 が設けられており、ステージ 7 0 上に設置されるサンプルを照明することができる。